

第2回 奈良県道路斜面防災点検検討委員会

議事概要

1. 日時：令和6年12月11日 10:00～11:30
2. 場所：奈良県庁 第一会議室（オンライン併用）
3. 出席者：

委員長	京都大学 名誉教授	大西 有三
委員	京都大学 工学研究科 都市社会工学専攻 教授	岸田 潔
委員	関西大学 社会安全学部 教授	小山 倫史
委員	京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授	橋本 涼太
委員	国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター長	青山 淳
委員	奈良県県土マネジメント部次長（土木・政策統括担当）	篠田 隆三

4. 議事

- (1) 資料説明
- (2) 質疑・意見交換

主な議事概要

○緊急時の対応について

- ・ 地すべり、落石、斜面崩壊などは異なる現象であり、それぞれに適切な対応方法を要領に組み込む必要がある。

○平常時の点検について

- ・ 道路パトロールの実施は非常に重要であり、パトロール時の記載内容も検討することが望ましい。
- ・ 落石を発見後の対応が重要であり、繰り返し発生する場合には斜面崩壊の前兆と捉えて対応していくことも想定される。

○スクリーニングについて

- ・ 防災点検の点検要領(H18.9)では、現象毎に対象となる斜面勾配の閾値があるので参考にすると良い。

- SARやLP図等の調査手法と、現象毎に適用範囲を検討すると良い。
- スクリーニングの手順はうまく機能するか過去の事例ふまえてシミュレーションしたほうがよい。

○安定度調査について

- 既存の対策工の劣化をどう反映させるかが課題であり、安定度調査票の見直しが必要。

○データ蓄積について

- 斜面形態の整理や対策実施の有無、事象の発生頻度について、整理すると良い。

以上